

東京大学での所属学部/研究科・学年(プログラム開始時): 経済学部4年

参加プログラム: LLIC 派遣先大学: 香港大学

卒業・修了後の就職(希望)先: 1.研究職 2.専門職(医師・法曹・会計士等) 3.公務員 4.非営利団体
5.民間企業(業界:) 6.起業 7.その他()

派遣先大学の概要

香港大学は世界トップレベルの英語で講義が行われる国際色の豊かな大学です。

参加した動機

上海でインターンシップの経験ができることと世界各地から集まる優秀な学生と交流できるため。

参加の準備

- ①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)
TOEFL か TOEIC のスコアが必要なので早めに受験することをお勧めします。
- ②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)
少し複雑ですが香港大学のビザで続き期間が手伝ってくれるので心配いりません。
- ③医療関係の準備(出発前の健康診断、予防接種等)
特になし
- ④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)
東大で加入必須の保険2つ/香港大学の方で用意された保険1つ
- ⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)
ゼミの先生に許可をもらいました。
- ⑥語学関係の準備(出発前の英語レベル・語学学習等)
交流は全て英語なので日常会話レベルの英語は最低限必要です。
- ⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
他の参加者の大学の概要を最低限知っておくと会話が弾むと思います。

学習・研究について

- ①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等)
香港大学で2週間授業(予習復習必要なし)+上海で1.5ヶ月インターンシップ
- ②学習・研究面でのアドバイス
インターン先が決まったらその会社の前調べをしておくのと良いと思います。
- ③語学面での苦労・アドバイス等
碎けた英語を理解するのに最初は苦しみましたがだんだんなれると思います。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

大学寮(香港)、長期滞在用ホテル(上海)

どちらもとても交通の便が良かったです。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

どちらもとても暑いです、交通は地下鉄が便利です。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

上海はスリが多いので注意する必要があります。

④要した費用とその内訳(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

食費、交通費、日本と香港間の往復航空費、娯楽費

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

香港大学を支持する財団から支給される14万円(東大で申し込むときに頂けると書いてありました)

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末の過ごし方など)

休日にみんなで中国国内の他の都市にいたりしました。

派遣先大学の環境について

①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

特にありません。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館と食堂が使えます。

プログラムを振り返って

①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

最初の香港大学での2週間の授業は海外からの学生のみで行われますが自分以外ほぼネイティブ英語圏の学生だったのでいきなり彼らのグループに溶け込むのは英語を使う機会がない日本人にとっては少し難しいことでした。ですが(プログラム参加前までに英語ができることは最低限なので英語が上達できた、というのは置いておいて)彼らの生活様式を知ることができたという意味では大きな収穫でした。

また、上海でのインターンについて。自分は中国語が話せるのでインターン先では中国語で社員の人たちと交流しました。このようなインターンでしか中国本土の企業で働く機会がないと思うのでとても貴重な経験でした。中国の仕事のスタイルは良い意味でも悪い意味でも日本と全く違うので長期的にそこで働けたのは良かったと思います。そして上海ではホテルに滞りますがルームメイトがいるということも自分にとっては初めての経験でした。ハーバードから来たいわゆる西欧人の子とルームシェアしましたが、最初は慣れないことも多く少し息苦しいときもありました。ですが後々実は日本人が普段気にしすぎなのではないかということに気づかされたり、最終的にはとても仲良しになり、これも貴重な経験となりました。休日の過ごし方は自分次第で、いろんな国の人、とくにアメリカやイギリスから来た優秀な学生、香港大学の学生と密度濃く交流したい人にこのプログラムはお勧めです、会社の人みんな優しい人で企業は選べませんが本当に幸運だったと思います。とくに日本人だと向こうは日本の文化や観光に興味津々なのでその点では他の学生に比べて有利なのではないかとも思います。また、余力があれば中国語の勉強もお勧めします。

②参加後の予定

③今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

日常会話の英語(生活に必要な最低限のものではなく、スラングなど)できれば中国語

その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

香港大学の LLIC プログラム Web サイト

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。

